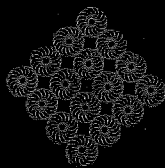


成蹊会誌

1963年12月第

22号

新役員あいさつ ① 村上藤太 / 田中博次 / 立 文子
竿代 靖 随筆二篇 ⑥ 私の不健康法 / 土方猛行
米国雑感 / 大久保利春 追悼文 ⑧ 中村小波先生
を憶う / 大類袈裟吉・小布施庚ちゃんを憶う / 牧
原仁兵衛 成蹊会近況 ⑩ 成蹊学園近況 ⑬



特集・世界旅行記 ⑳ 分かれたドイツ / 倉石五郎
海外研修の旅 / 杉山穰・ソ連の旅 / 竹内丑雄
ヨーロッパ周遊記 / 高木良子
欧州工学教育視察調査団座談会 ㉑
各地成蹊会だより ㉒
会員消息 ㉓ 成蹊会基金・会費申込者 ㉔

ず
い
ひ
つ

私の不健康法

土方 猛行

著名な人々の健康法に関する記事を読むと、その著名の人々が著名になった根本は概してそれらの人々が健康であったという事を感じる。健康だからこそ、長生きもでき、仕事や研究など人間活動をほしほしにままして、世に知られる地位を占め、或は業績を残すのであろう。

併し記事を読んで見ると、中には、いわゆる健康法など意にかけず、幾らかデタラメな生活して非常に健康を保っている知名人がいるのに驚く。こんな人は天争の健康人なのであろう。私もそんな意味で天争の健康人である。煙草は二十四才頃から吸出して、寸時と雖もシガレットを放した事なく、今日でも毎

日五十本はふかし、一時チムニー(煙突)のアダナを取った。酒類は青年時代から好きで、最近三ヶ年位はビール一辺倒でやって参り、一日最高十本位やった日もある。若い時は運動を相当やったが、老来無精になり、煙草を吸い吸い時にはビールを座右に、机上仕事に没頭する。私の不健康法は斯くの如きものであった。

併し遂に天罰が下る日が来た。私はビールを飲むと、飯は勿論、オカズが喰えないのである。ビールを毎日十五本位飲んで生活力旺盛に暮しているという或老社長の記事を読んで、大いに共鳴したまではよいが、本年夏に入り栄養失調甚だしく、酒精中毒症の症状を呈するに至った。家内や娘に強制的に人間ドックに入れられたが、時既に遅し、病状は相当悪化し、本式に入院ということになった。益々やせて、手足のケイレンも激しく、嗜好品中毒の特徴の幻覚に悩まされ、流石天争の健康人も悲鳴をあげた。

ただ幸いドックの診断では、内臓その他に別状ないとの事に力を得て、療法としては酒精類をブツツリやめ、モリモリ喰えばよいのだと確信して、そのように努力した。アル中には注射薬や適当の療法なく、私の症状では思ひだした。(a) 渴酒症に陥ると飲んで飲みまくり、ヘタばるまで飲みつづけるという。(b) コルサコフ精神病にかかる事もあるという。記憶障害がひどく、ウソや作り話が多く、本人はウソとは思はない。北氏の記事の要点は以上のようなもので、なおアル中の治療法はなく、本人の意志で酒をやめるより、外に致し方ないことを氏は強調されている。

恢復に或医師は一年説、他の医師は六ヶ月説を唱え、相当オドロカサレタが、私は一ヶ月説を唱えた。ところが幻覚は一兩日で治り、ケイレンも十日位でほぼ止り、歩行もできるようになった。十五日位たつと文字も普通に書けるようになった。二十日過ぎに院長に退院を申出たが、まだまだというので、到頭一ヶ月許り入院し、全快して上京した。今では入院当時と見違えるように血色もよく肉もついた。

ホントにこりました。入院当日から既に二ヶ月余りビール一滴も飲まないが、酒席になっても欲しいと思わない。「プリ返したら今度は命がないから飲まない事を誓ってね」と若い看護婦にゲンマンさせられた事を忘れなない。

その後、北杜夫氏の「アルコール中毒」の記事(三八、一〇、五日朝日新聞所載)を読むに及び、氏の指摘する病状の主なものを私は一昼夜の短時間に体験したわけで、誠に内心慄然たるものがあった。

氏の記事に従って病状を摘記すると、(一) 単なるアルコールの急性中毒による悪酔いでも常軌を逸する行為ある場合は、病的銘酩と名づけられる。小暴力を奮うのは、こんな場合

私は自由職業人なるため結構自由に飲める境遇にあるからの災であるが、絶対禁酒した今日、食欲も増進し、五体も気力に満ち、頭もハッキリし、愉快に活動しているが、思い当る方があれば、どうぞ私の体験を参考にして前者の轍をふまないよう祈って止まない。(専門三回卒・土方計理事務所)

其の指導理念は明かに米国の自由人類的伸張した、自由人類の方向を体現して居り、其の方針の下に「米国の伸張は自由人類の伸張である」という、超国家的気迫を感じさせられる今日この頃のケ大統領である。

(旧制高校七回卒・東京通商常務取締役ニョーヨーク支店長)

(編集部)

☆

☆

米 国 雑 感

大久保 利 春

ず
い
ひ
つ

本年七月大統領が欧州の旅に出た時の光景でしたが一人で飛行機のタラップを駆け上り手を二三回振って扉が閉り飛行機は欧州へ向けて飛び去った。翌日のテレビには欧州各地で演説をし、欧州各国民の熱狂的歓呼の内に迎えられて居るケ大統領の姿が写し出されて居た。

最近の旅行で夫人同伴で重々しい一族郎党に見送られたり従はれたりして、外国へ出発する日本の大臣の出発光景とは対照的な感慨を受けた。

九月国連総会の演説では共産圏の代表的悲劇事件を挙げて非難し一緒にアラバマ州の黒人教会爆発の暴拳を各国代表の前で同様強く非難したケ大統領の態度には、月世界旅行の

きて、教えることが多くなり、基礎的なことも沢山教えなくてはならないので、やはり、大学院をおかないと産業界の要望に沿えないというのが世界の現状だと思う。どの大学も大学院をおかなければ本当の意味の大学ではないという時勢になっているのです。

福田 大学院設置ということは、具体的な手段としては、大学院を作ると同時に総合研究所を持ちたいと思っています。とくに産学協同という背景で研究所をもつということは、効果的である。それによって、いい教授を取ることでもできる。非常に深い研究ができるということによって、又高度の研究の雰囲気にあるということは金には変えられない教育効果がでていっていると思うのです。

大学教授が基礎的な面から先端的な技術を決していく能力を教授も得ていく、それは結局日本の産業界に非常な力をあたえていくことになるわけです。

各国工學部の現状

谷岡 最後に各国の特色について簡単に聞かして下さい。

福田 まずスウェーデンについて……。スウェーデンは人口が少なく社会党内閣、とい

っても日本の自民党的なものです。実際に密なる計画によって行なわれているようですね。これは技術者教育の計画面について又計画の仕方について調べるとき、大変参考になると思った。今度新しい工科大学がムンドという所にできましたが丁度教養の生徒が入っていたが、成蹊の規模とほとんど変わらないため、予算計画、敷地計画やカリキュラム等について本学と比較すると面白いので、目下比較調査しています。

西独は高名な教授を中心とした大学の運営がなされ、大変に大学教授が優遇されています。しかし大学教授になるには、数度の関門を突破しなければならず、業には大学教授になることができない。しかしなると大変に優遇されており、これほど大学教授の優遇されている国は少ないように思います。

フランスが依然として英才教育、エリート教育を実施している。これほどエリート教育をしているところは少ない。今般拡充をした郊外移転をしているが、学生数は絶対増えないという方針をとっています。

福田 つぎにイギリスですがイギリスはやはり古典的なユニバーシティ形式とカレッジ形式の大学がある。ケンブリッジの工學部門は

建物といい気分といい、従来のケンブリッジとは全然別でむしろ異様な感じがする位であった。イギリスといえどもこの高度の工業教育にかかつては、従来の習慣を守っているひまがないということを感じました。

祖父江 イギリスは産業界と密接につながっており同業者別の研究所があり、マンチェスターなどは綿、ヨークシャーは毛の強力なバックがあるんです。

浅見 アメリカはヨーロッパに比して工科大学の数が多し。工業の発達もテンポが速い。そのため工業教育を短期間に改造しつつあると思う。一つにはエンジニアリングサイエンスという形でいろいろの専門の間のつなぎをつけるような方向にいらっている。きわめて新しいこと即ち純粹電子工學などという高度の技術を早く学生にまかせようとしているのです。

アメリカは毎年大改造しているという点ではヨーロッパの追従をゆるさないところであると思う。

カリキュラムも毎年新しく改造されていて、一年毎にその内容がほとんど違っているので驚いてしまうのですが、とにかくすべてスピードがあるんです。

各地からの便り

東海支部

東海支部では有志相寄り（11名）、つぎの行事に参加いたしました。

行事名／寮歌祭（東海学士会主催・名古屋まつり協賛）



寮歌祭に出場の東海支部会員有志（名古屋）

名古屋市中区役所ホールに、旧制高校30校有志が集まり、各校の寮歌を交歓し、一般市民に公開した。

日時／十月十日

人員／当支部より十一名

- 松野孝治（旧高12） 三好 栄（旧高14）
- 鈴木秀雄（旧高19） 由比健郎（旧高20）
- 花井昭夫（旧高22） 島村弘之（旧高23）
- 山岸常夫（大1） 白井年胤（大5）
- 吉田康男（大6） 杉山 坦（大7）
- 結城健之（大12）

曲目／校歌、土の育くむ

寮歌、肌をぬらす

旗を軟式庭球部より借用して掲げ、また桃季不言下自成蹊を大書した紙も示して、元氣いっぱい歌った。今後、毎年十月十日に開催されるので、毎回参加の予定である。

（東海支部幹事 由比健郎記）

東北支部

成蹊会員の皆さまお元気ですか。

他の各支部と同様に、東北支部も毎年着々と会員が増加し、年々発展の道をたどっています。



東北支部会（仙台）

東北支部の所在地の仙台も、戦争の傷手から完全に回復し、東北の文化・工業の中心地として、飛躍的な発展をめざしています。今までは仙台の東北大学関係の会員が中心となっていて、東北支部の例会が行なわれてきました。最近、各会社の支店が次々と進出して、これらの関係の会員も増えて、又、いちだんと強力な支部となりました。

毎年、春に総会を、秋に仙台在住の会員だけの会をやっていますが、今年も総会を六月二十九日、仙台駅前の東宝ビルにある中華料

理店「白楽店」で、当店自慢のバイキング料理を囲んで、夕方六時半より行ないました。今回も、例年のように、本部よりわざわざ、谷岡理事に出席していただき、三井副支部長、丸毛夫婦等十八名が出席しました。ビールで乾杯のあと、谷岡理事より、成蹊会および成蹊学園の近況をうかがい、その後、出席者一人一人、近況報告しました。最近、外国より帰られた、相馬、斎藤両氏のみやげ話もあり、若い学生達はバイキング料理を腹いっぱい食べ、先輩の方々はビールのジョッキを傾け、最後に記念撮影をして、楽しい雰囲気うちに閉会となりました。

(東北支部幹事・鴨打征夫記)

千葉成蹊会だより

イースタン・トーキョウという言葉があります。外人に千葉を説明する時に使われる言葉です。まさに千葉は新しい首都圏として変りつつあります。そこに元気に活潑な活動をしているのがSEIKEI・MANグループ千葉成蹊会です。

千葉医大の伝統をうけついで、お医者さんは多士済済、それに新しいメモバーも毎年々々増え、よそとは違った独特のムードをもつ

ている支部です。

会長は知る人ぞ知る香月大先輩(千葉大教授、肺がん研究室長)、その名リードにより、毎年開かれる例会は御大谷岡氏を迎え、成蹊のなつかしき先生を中心に愉快に開かれます。今年も盛大に開かれましたが人数もふえて和気あいあいでした。異色な顔ぶれとしては先輩リンレイワックスの竿代社長、三菱化成勤務の張切り先輩の久我さん、博報堂勤務の若手ホープ酒井君、そして京葉地帯各方面のお医者さん、千葉大医学部の各先生等々……大盛況でした。

ライシャワー大使が「日本の奇跡は千葉の京葉地帯にあり」といわれましたが、千葉はまだまだこれから躍進一途をたどると思えます。

千葉成蹊会もそれとともにますます盛んになると思われます。母校成蹊の名誉のために、千葉成蹊オールメモバーは張切っていることを御報告いたします。

最後に、はるかに諸先輩の御健勝を心より祈りあげます。(千葉支部幹事 安田敬一記)

日本郵船成蹊会

九月二日、ひさしぶりで「郵船成蹊会」を

古菓の茅場町で開きました。出席者は九名

で実1の大類架沙吉氏を筆頭に、高5中村幹夫、高8鶴田勤、黒川正典、高10今泉丈夫、大2西村淳、新高4藤原昭男、大7井原壮哉、大11草野陽の諸兄。新旧入りまじって旧談に花が咲いたことはもちろんです。

当日不参加の諸兄は、大1伊吹光、新高5小島豊、大10浅見寿一、等々。会の日取りをまちがえた人、支店にいる人、船に乗っている人たちです。小生など、先輩を探してご馳走になったのですが、近頃は会でもないとだれが入社してきたのかわからないのは、淋しいことです。

大類さんと私は社外に出ましたが、十名を越える数はたいしたものだと思います。今後、ときどき集まりたいものです。

二次会には、大2田中達也氏経営のパーランへ案内され、大3昭和電線の藤江安仁氏に会いました。広い東京でも成蹊マン、相変わらず集まる穴には寄るものと、感心した次第です。ごぶさたのお詫びかたがた、近況ご一報ま(今泉丈夫記)

各地からの便りをお寄せ下さい。(編集部)

会 員 消 息

特別会員

伊藤隆吉 成蹊大学

今夏休暇を利用、大学の研究費に印税を加えた旅費をもって南九州に研究と視察の旅に出ました。宮崎県の青島と荘内町内の関の尾両地のポットホール調査(地形)でした。ついでに鹿児島、熊本、島原、長崎、広島も見学しました。長崎と広島の間では、原爆中心地の近くで偶然にも被爆瓦の記念採集をして帰京しました。各地とも卒業生や在校生諸君の案内で、前後二週間にわたって行きとどいた視察ができてよるこんでいます。九州は今も人情ゆたかな所です。

梅谷興一

元気に仕事や好きな本をよんで、日々好日と楽しんでおります。諸君の御多幸を祈ります。

梅地慎三

成蹊は中村、岩崎、今村三先生の合作の教育殿堂です。五十周年に今村先生の胸像が出来、これに三先生の記念碑が揃い、更に池袋に発祥の地に記念碑まで出来、こんな嬉しい事はありません。この次は真の教育殿堂にふさわしい教育内容ではないでしょうか。

大久保捨蔵

左記の所で毎日茶道教授をしています。
成蹊大学(主) 於総長邸
啓明学園(金) 於理事長邸
新川看護学院(火) 於茶道場
五日市町(日・月) 於茶道場
武蔵三鷹電信局(水) 於茶道場

無着庵(木)

毎日旅行者の様に一所不住ですが木曜の晩は無着庵に日曜の晩は五日市茶道場に泊りますからお茶をのみに来て下さい。

香取良範

成蹊を去って満二年、数学教育の進展のために、日本全土を走りまわっています。二年間に二百五十回ほどの講演をしました。成蹊を離れて、成蹊のよさが一層はつきりました。皆様の御健勝をお祈りいたします。

栗山重

齢七十を越え教員生活五十余年今日なお名誉校長として週四日間宝仙に出勤、小学校全学級(十二)の理科を一時間ずつ、且つ幼稚園と短大をも一回ずつ受持ち残る二日間には依頼に応じて他へ話しに毎週のように出かけるといった生活をつづけ幸いにも至って元気にやっています。二十五年間お世話になって成蹊はまことに、なつかしく成蹊会のいよいよ御発展会員諸賢の御多幸をお祈りしております。

佐藤要人

碌々消光馬齢を重ねるばかりであります。我が成蹊学園の益々御繁昌を切に祈り上げます。

高野正

私は当年七十六才になりました、永年の御知遇多謝々々、私は先年慶応病院と契約して死後の解剖を依頼しています。角膜をはじめ、役立つ部分は遠慮なく御利用下さいと。就きましては、死去の際の通夜も葬式も、告別式も致しません。御香奠御供物も一切御辞退いたします。

又死亡通知も差上げません。一期一会お会いしたときが最期と覚悟していますが、例の独特の浄血法をしているせいか、なかなか右の機会が来そうもありませんのでいささか閉口して居ります。

高橋健二 中央大学

九月末、四回目のヨーロッパ旅行から帰りました。ボンで倉石五郎先生にお会いいたしました。

月江曹元

私は只今の処無事に暮しております。本年は七十七才になりましたので喜寿の祝をさせていただきました。成蹊大学の御隆昌の事は常々伺っております。今回今村先生の「御胸像」が立てられた由誠に有がたい事と存じます。私も御伺い